

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	イネーいもち病相互作用の分子機構の解明
研究代表者	寺内 良平（公益財団法人岩手生物工学研究センター・ゲノム育種研究部・研究部長）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者は、イネの最重要病害であるいもち病の感染機構と抵抗性機構の解明について国際的に高い評価を受けており、本研究を遂行して、十分な研究成果が期待できる。特に、新規性の高いHMAとその後の展開並びに S gene の探索等は、基礎研究レベルでの貢献のみならず、具体的な育種戦略にもつながり、波及効果も大きい。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p> <p>なお、応募者の研究グループは、これまでの実績から実施協力体制は十分であると推察されるが、綿密な研究計画で世界トップレベルの研究とはいえ、研究代表者のみで推進するのではなく、より強力な研究体制を組織することが望ましい。</p>